

県内初！志木市役所庁舎が 2023年度グッドデザイン賞を受賞

昨年7月に開庁した市庁舎が、2023年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。県内の市役所庁舎（区役所、町村役場を除く）で、グッドデザイン賞を受賞したのは志木市が初となります（志木市調べ）。

1 市庁舎について

昭和47年に建設した市役所旧庁舎は、耐震性能の不足や建物設備の老朽化などの課題を解決するため、令和2年から建替え工事に着手し、令和4年6月に庁舎棟と人工地盤棟からなる新庁舎が竣工、同年7月19日に開庁しました。

2 所在地など

所在地：中宗岡1丁目1番1号

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（免震構造）、地上4階・地下1階

敷地面積：9,039.15㎡ 延床面積：12,621.63㎡

設計・監理：株式会社佐藤総合計画（東京都墨田区横網2丁目10番12号）

施工（庁舎棟）：鹿島建設株式会社関東支店（さいたま市大宮区大門町2丁目118番地）

施工（人工地盤棟）：関口工業株式会社（中宗岡1丁目3番34号）

3 建設コンセプト

- ・市民が利用しやすい新庁舎
1階に主要な窓口を集約配置するワンフロアストップ方式を採用
- ・市民力のステージとなる新庁舎
建物前面のグランドテラスや1階の市民ホールなど、市民の活動や交流ができるスペースを設置
- ・市民の安全を守る新庁舎
免震構造やさまざまな水害対策など、あらゆる災害に強い構造
- ・志木市の環境と共生する新庁舎
自然風の取込みなどにより環境負荷低減や省エネルギー化を促進

4 評価コメント（原文）

イベント時、市民がここで計画された広場へ集っている風景に、とても嬉しくなる思いがした。各フロアごとテラスの深い軒下は、人が佇む場所となり、広場に向かう様は、まさに劇場の客席のようだ。市民がここで集った体験は、災害時にも有効であろう。普段使い慣れた場所に非常時の場所があるというのは、公共施設が担う必要条件といえる。その意味で、イベント時だけでなく、この広場が日常的な居場所として活用されていくことを期待している。



記者発表資料
令和5年10月20日
総合行政部行政管理課
文書統計・発注管財グループ
担当者／課長 深町 仁至
電話番号／048-473-1112